

令和5年度以降の取組みの方向性について

資料6

現在の県長期計画について、長期ビジョン編が令和2年で10年を迎え、第3期アクションプログラムも4年度で終期を迎えることから、5年度を始期とする新たな総合計画を策定する必要性。

【現行】第六次愛媛県長期計画「愛媛の未来づくりプラン」

年 度	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4
長期ビジョン (概ね10年間)	←-----→											
アクション プログラム (4年間)	←-----→				←-----→				←-----→			
	第1期				第2期				第3期			

【長期ビジョン編(H23年度～概ね10年間)】

- 岐路に立つ愛媛（時代の潮流、愛媛の潜在力）
- 基本理念
- 愛媛づくりの方向性
- 目指すべき将来像
- 地域づくりの考え方
- 推進姿勢
- 策定趣旨、計画期間、将来予測等

【第3期アクションプログラム編(R元～R4年度)】

- 策定趣旨、計画期間等
- 政策体系、計画推進の仕組み
- 豪雨災害からの創造的復興、新型コロナ、DX
- 人口減少対策
- 分野別計画
- 地域別計画
- 推進姿勢

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大による影響大・長期化
- ・人々の意識の変化、ライフスタイルや価値観の多様化
- ・世界経済からの国内経済への影響
- ・人口減少の加速
- ・デジタル化の加速
- ・激甚化・頻発化する自然災害
- ・2050年カーボンニュートラル

状況の変化

策定の方向性

目指すべき将来像を見据えながら、えひめの持続可能な発展・成長に向けた実効性のある計画を策定する。

策定のポイント（案）

①計画期間は4年間（R5～R8年度）

社会経済情勢の変化に即応できるよう、長期スパンの計画は策定せず、4年間の計画とする。

②2040年頃の将来像からバックキャストिंग

いわゆる「2040年問題」（高齢者人口が最大、労働力不足やインフラへの影響など）に対する課題や日本社会が直面すると予測されている危機を踏まえた上で、本県が目指すべき将来像を描き、その将来像を見据えて現時点から取り組むべき具体的な施策を計画に落とし込む。

年 度	5	6	7	8	9	10	11	12 (2030年)	...	22 (2040年)
新総合計画の内容 ・ 基本理念 ・ 目指すべき将来像 ・ 分野別の施策、 主な取り組み ・ 推進姿勢 等	新総合計画				← 目指すべき将来像					
	目指すべき将来像を 見据えながら 概ね4年間でやるべきこと				未来の姿を踏まえた上で、 具体的施策等を計画に落とし込む。					

③人口減少対策の加速化（第3期県版総合戦略）

引き続き、新総合計画において一体的に推進することとし、人口変動の要因やその対策について調査・分析を精緻に行い、実効性のある人口減少対策を計画に盛り込む。